

## 会長あいさつ

### 県立青少年センター 館長 薄井英男



会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。協議会の会員の皆様には、県立青少年センターの事業へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、子どもたちの「理科離れ」が言われて久しくなりますが、ある調査によると小学下級生の一番好きな科目は理科なのです。それが、いつの間にか嫌いな科目になってしまう。原因はいろいろあると思いますが、身近な科学の不思議体験による「なぜ?」「どうして?」の疑問を「そうだったのか!」という感動に結びつけることが大切だと考えます。

その中で、私たち協議会が主催、共催している「中高生サイエンスキャリアプログラム」「子ども科学探検隊」「青少年科学作文コンクール」「子どもサイエンスフェスティバル」等の事業は、まさに、子どもたちや青少年に対して、知的好奇心の喚起やものづくりなどの喜びが実感できる取り組みとしておおいに意義があると言えます。

さらに今年、さがみ縦貫道道路の開通を機に、国から縦貫道路の沿線地域が「さがみロボット産業特区」に指定されました。特区の広報を兼ね、例年青少年センターで実施しておりました「青少年のためのロボフェスタ」を県立神奈川総合産業高等学校において11月24日に開催します。

協議会のこうした取り組みを通して、今後も事業を充実してまいりたいと考えておりますので、引続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成25年度の青少年センターのメンバーです。よろしくお願いいたします。

会 長	薄井 英男	館長
事務局 長	高尾 成弘	科学部長（県立座間高校より）
事務局次長	上原 <small>ゆきお</small> 志郎	科学支援課長
事務局担当	山田 幸一	副技幹
	烏田 雄輔	技師（県立舞岡高校より）

平成25年4月1日付け異動

前事務局 長	有森 齊	（県立津久井浜高校校長へ）
前事務局担当	平田 太一	主任技師（県立保土ヶ谷高校へ）



# 「子ども科学探検隊」がスタートしました！

5月26日（日）10時より青少年センターで開講式を行いました。

小学4年生～6年生の子どもたちが、県内の科学館・研究施設・大学・動物園などで科学の不思議・ものづくりの感動を体験します。

A、B、Cの各コースとも約半年の間に5つの施設及び特別コース（希望者）の探検に行きます。

開講式後は、コースごとに集まって隊員同士の自己紹介、事前のオリエンテーションが行われました。



開講式で館長のあいさつを聞く隊員達

A コ ー ス 20 名		三菱みなとみらい技術館（5/26） 相模女子大学（6/8） 水産総合研究センター中央水産研究所 横浜庁舎（7/31） 神奈川大学理学部（8/10） 横浜市繁殖センター（9/7）	特 別 コ ー ス 宇 宙 航 空 研 究 開 発 機 構 J A X A (8/4)
B コ ー ス 20 名		野毛山動物園（5/26） 東芝科学館（7/20） 関東学院大学工学部（8/1） 海洋研究開発機構横浜研究所（8/21） 神奈川県立生命の星・地球博物館（11/9）	
C コ ー ス 20 名		日本郵船氷川丸（5/26） はまぎんこども宇宙科学館（6/22） 神奈川県環境科学センター（8/1） 産業能率大学（8/22） 横浜市立金沢動物園（10/26）	

休憩をはさんで、全員で「おもしろ実験」を体験しました。昼食後、それぞれ元気に探検に出発しました。



おもしろ実験 「物体の落下」に納得！  
ガリレオも落下についてたくさん研究しました。



おもしろ実験 「電磁誘導」に感動です。  
モーターと発電機の仕組みを実験で確かめました。

## 子ども科学探検隊Aコース 三菱みなとみらい技術館

自然エネルギーについて学び「風力発電」の風車を工作した後、館内を探検しました。



風力発電の仕組みを体験しました。  
制作した風車はおみやげに！



館内の展示を見学・体験！ガイドさん  
の説明を熱心に聞いていました。



デジタルパーツを組立て、3D蒸気機関車  
を動かす近未来制作体験に挑戦しました。

## 子ども科学探検隊Bコース 野毛山動物園

普段は入れない手術室を見学しました。動物の健康管理の大変さを体験しました。



どきどきしながら手術室の見学を  
しました。



手術室の機材や動物ごとの診察方法を  
分かりやすく説明していただきました。



自分で作成した聴診器を使って、  
モルモットの心臓の鼓動を聞きました。

## 子ども科学探検隊Cコース 日本郵船氷川丸

船長室や操舵室なども特別に入れていただきました。ロープの結び方を体験しました。



操舵室を見学しました。



エンジンの仕組みについて丁寧に  
説明していただきました。



船長さんにロープワークを教えて  
もらいました

## 青少年センターのイベント 自然観察会（江の島）

青少年センターでは、小学生から一般の方を対象に自然観察会を年間3回実施しています。第1回は5月25日（土）に江の島で、海辺の生き物や地層の観察を行いました。定員の3倍を超え約200名の皆様からご応募いただき、講師の先生方のご協力で約100名での実施になりました。



砂浜を歩いて江の島に向かいます。



説明を聞きながら地層を観察しました。



海辺の岩場にはいろいろな生き物がありました。



植物も豊富で驚きました。

## 青少年センターのイベント 星空教室

小学生から一般の方を対象に、毎月1回青少年センターの屋上で星空観察会を実施しています。第1回の4月20日は雨天のため中止となり、第2回の5月18日が今年度最初の教室となりました。100名近い参加をいただきました。



専門スタッフによる事前学習から始まります。



天体望遠鏡を使って実際に観察しました。

## 協議会員の動向

### <後援するイベント>

東芝科学館は、今年も8月17、18日の2日間「東芝科学館第3回サイエンスフェスタ」を実施します。協議会の活動趣旨に沿うものと判断し、後援いたします。

### 事務局より

- 第52号は、5月からスタートした「子ども科学探検隊」の開講式及び第1日目の活動をお知らせしました。次号以降で引き続きご報告します。
- 青少年センター科学部のイベントとして、「自然観察会（江の島）」と「星空教室」をご紹介しました。いずれも定員を大きく上回る応募をいただきました。
- 協議会ニュースを協議会員同士の情報交換の場としてよりご活用いただきたいと考えております。会員の皆様からの情報等をお寄せください。協議会ニュースを通して発信していきたいと思っております。どうぞご活用ください。
- また、ご意見・ご要望等がございましたら事務局までご連絡ください。

#### 問い合わせ先

神奈川県青少年科学体験活動推進協議会事務局  
(県立青少年センター科学部) 烏田、上原

TEL 045-263-4470

FAX 045-241-7088